

絵はがきの頒布 好調

定光寺町の水野金光さんに描いていただいたほのぼのとした掛川マップのスケッチ画
絵はがきの頒布をはじめたところ、8月末までに1600枚余りを頒布しました。

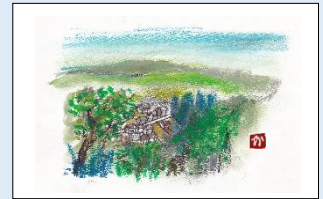
とくに瀬戸オオサンショウウオの会や、掛川小学校、しなのが丘病院からは大口の注文をいただきました。絵はがきリストに載っているすべてを1枚ずつ注文された方も何人かありました。地域外の方々からも注文をもらいました。

注文は1枚単位でいつでも受け付けています。まだの方は是非お求めいただき、この絵はがきを使って知人・友人、親戚の方々に掛川の良さを発信してください。

価格は1枚40円です。絵はがき注文の詳細は、7月に全戸配布した注文表に記載されています。(画像は絵はがきのサンプル)



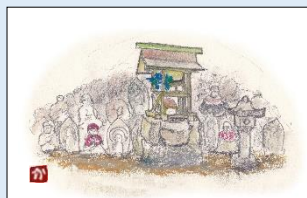
蛇ヶ洞川のオオサンショウウオ



嶺の上から見た下半田川集落



掛川公民館



築山の金毘羅様



松本家の枝垂れ桜



掛川小学校

絵はがきリストに、一種類追加をしました。

やまびこ22号と同時に配布した絵はがきリストに定光寺町の「地神様」が漏れていました。

定光寺町のリストにNo.40としてその内容を追加しました。改めて絵はがきリストの修正版は配付しませんが、右に示しましたので今後注文される場合の参考にしてください。

No.40 地神様

一般に土地の神様、農業の神様として広く各地で祀られていて、民間信仰の

ひとつである。定光寺町上内垣外の山中に小さな碑があり、9月第1日曜日が例祭日となっている。



夏休み中の「かけがわっ子ひろば」

夏休みに入って「かけがわっ子ひろば」では、今年もたくさんのイベントなど盛りだくさんの企画がなされ、子どもたちはいっぱい楽しい体験をしました。そのうちのおもなものをとり上げてみました。

紙でっぼうづくり 7/25

篠竹と紙を使って紙でっぼう作りの手ほどきを地元有志の方々がしました。



水にぬらした新聞紙を丸めて詰めるのに苦労していた子もありましたが、ポンと音をたてて飛ばすたびに歓声が上がっていました。



クッキング教室 8/1

お母さんたちが講師になり、3つのグループに分かれて楽しい料理に挑戦しました。



メニューは、のっけ稲荷とミニ細巻き、それにデザートでした。



8月8日にも第2回目を実施し、バンバンジーうどんなどを作りました。

世界でただ一つのうちわづくり 8/2



無地のうちわに絵の具やクレヨンで思い思いの絵を描いて、世界でただ一つのMyうちわづくりに挑戦しました。

夏らしい花火やクワガタ・カブトムシなどの昆虫、イルカが泳いでいる様子など、思い思いの絵を描いて楽しみました。

時間が余った子は輪ゴムでっぼうも作りました。

川遊び 8/4

蛇ヶ洞川で川の生き物探しを兼ねて川遊びをしました。地元の人からオオサン



ショウウオに噛まれないようにするための注意を受けてから川に入りました。



巣穴から顔を出したオオサンショウウオ

ちょうどその時、巣穴からオオサンショウウオが顔を出して、皆を歓迎してくれているかのような様子でした。

ふるさと歴史散歩 下半田川町の庚申堂 こうしんどう

下半田川町坂屋敷の旧道横の丘に庚申堂があります。現在は利用されていませんが、「おばあさんたちがこのお堂に集まってご詠歌を唱えていた」ことを記憶する世代がまだいます。お堂の前に、女人講中と刻まれた石仏が二体あり、それぞれ、天明7年（1787）と文政2年（1819）の銘が入っています。庚申講とは別に、女性どうしが集まって信仰し、また日常生活の情報交換をする女人講が行われていたと推測されます。



女人講中と刻まれた石仏（左）と文政2年の棟札（右）
庚申の日に五目飯を供えてお勤めをする庚申講があったことも伝わっています。定光寺町でも庚申塔に味飯を供えてお参りしました。

町内には庚申堂の他に庚申碑が2基あります。庚申堂の近くの西山の庚申碑に明治12年の刻銘があることから、このお堂も同時期に建てられたとする説がありますが、堂内にある2枚の棟札によれば、文政2年に庚申堂再建、昭和40年に修理されたこととなります。したがって、庚申堂の創建は文政2年以前の江戸



庚申堂と3体の石仏

時代とわかりました。休場にある別の庚申碑には万延元年（1860）の銘があります。干支で、庚申の日は60日ごとにきます。この夜に人間の体の中にいる三尸虫（さんしちゅう）が、寝ている間に体から脱け出して、天帝にその人間の行った悪行を告げに行きます。寿命をきめる天帝は悪いことをした人に罰として寿命を縮めます。ところが、三尸虫は人間が寝ている間にしか体から脱け出ることができないので、庚申の日には、信者は会食談義をして徹夜をしました。これが庚申講です。

また、青面金剛はこの三尸虫を喰ってしまうので、庚申講で、この青面金剛を本尊として拝むようになりました。一晩一心に願い続ければ、病魔の退散、延命長寿もかなうとされます。



庚申堂内の厨子

町内の庚申堂の中に厨子が二つあります。この中に青面金剛を描いた小さな掛け軸が納められていますが、右側の掛け軸はすでに破損しています。

（富田幹夫）

下半田川町の昔話 妻の神

読者の皆さんからのご意見や要望の中に、地域に伝わる昔ばなしを紹介してほしいとの声がありました。今後、少しずつとり上げていくことにします。

昔々、下半田川村に、田舎ではめずらしい美男の兄と、美人の妹がなかよく住んでいました。年頃になっても、二人の思いにかなう結婚相手が、この村や近くの村にはいません。そこで二人は互いの伴侶を求めて東と西に別れて旅に出ました。

しかし、何年か探しても意にかなう人が見つかりません。疲れ果てた兄と妹はそれぞれが故郷へ帰りました。すると、そこで兄は理想とする女性と、妹もまた理想とする男性と出会うことができました。

おおいに喜んで近づいて話をすれば、何年か前に別れて旅に出た兄妹同士でした。二人はこの世では結ばれない自分たちの運命に悲観し、ついに心中しました。

村人たちが二人の供養のために小祠をつくりました。これが今、縁結びの神として参拝者が多い「妻の神」です。



絵は『せと・あさひのむかしばなし1』から

ふるさと 自然だより

ムササビの災難

7月24日の朝のこと、カブトムシ探しに出かけていた小学生から「八劔社の森で何か動物が死んでいる」との通報がありました。現場に行ってみるとなんとムササビの子どもでした。全長50cmあまり、体重は343gありました。

不思議なことに口の周りは粘液でベトベトに濡れていました。調べているうちに口の周りの毛の間から爪のような骨片が出てきました。そこで推理してみました。

“爪のようなものはヘビの牙。ヘビがムササビを頭から呑み込もうとしたのに大きすぎてあきらめた。そのときヘビの牙が折れた。ムササビの口の周りが濡れていたのはヘビの唾液か消化液。そして死因は窒息死。” みなさんはどう思いますか？



倒れていたムササビの子ども



口の周りの毛はベタベタに濡れている



発達した飛翔幕と、ふさふさしたしっぽ（ひっくり返して腹側を上にして撮っている）



口の周りの体毛の中から出てきた牙らしきもの
短いもので3ミリ、長いものは7ミリ

町内花壇の植え付け

6月に町内花壇の花苗植えを環境美化グループが中心となって行いました。サルビア、マリーゴールド、ベゴニアなど色とりどりの夏の花が花壇を飾っています。

夏は雑草がすぐ伸びます。気が付いた方で都合のつく時に草取りをしていただくと嬉しいです。



下半田川ロバス停付近の花壇にて

クイズ ちょっと考えて 解答・応募者・賞品

左にある文字を使って二字熟語を作ってください。(例 原・今・頁・心 ⇒ 念願)
ちょっと頭をひねって考えてね。

- 1、 口・人・寸・本 (ヒント 集まり?) ⇒ 答え1
- 2、 角・王・土・刀・牛・日 (ヒント わかる?) ⇒ 答え2
- 3、 口・木・言・西・示・五 (ヒント 募集します) ⇒ 答え3
- 4、 日・日・門・土・寸 (ヒント 金なり?) ⇒ 答え4
- 5、 立・七・木・刀・見 (ヒント 思いやり) ⇒ 答え5

団 体

理 解

標 語

時 間

親 切

今回のクイズはどうでしたか? 少しは頭の体操になったでしょうか。

応募者は次の方々でした。(敬称略)

- 伊藤彰敏、伊藤幸代、伊藤信子、伊藤佳宏、
- 加藤陽子、○前田哲夫、○水野初代(以上下半田川町)
- 井上和子、水野美代子(以上定光寺町)

正解者の中から抽選で5名(上記○印)の方々には水野金光さんが描かれた掛川マップの絵の中から希望のもの1枚を額に入れて玄関などに飾れるようA5の大きさに印刷したものを差し上げました。

また、応募者全員に水野金光さんの絵はがき2枚組を参加賞としてプレゼントしました。



正解者の中から抽選で
当選した人にプレゼントした
額装用の絵の一例 (A5サイズ)

応募者からは「やまびこ」に対する次のような感想をいただきました。今後はご意見も是非お寄せください。

- ・「やまびこ」を毎回楽しみにしています。ありがとうございます。
- ・クイズはボケ防止になります。これからも続けてください。
- ・「会員の声」は読んで心が温かくなります。

会員の声
下半田川に引っ越して
 下半田川町 西村ゆかり

西村さんは、下半田川町に引っ越されてまだ1年目。地域の自然に親しみながら田舎での暮らしを楽しんでみえます。

2016年11月、わたしたち家族は引っ越しを終え、下半田川町での暮らしを始めた。

—寒さとの闘い— 聞いてはいたが想像以上だった。古い家を改築したものの日本家屋独特の隙間風に苦勞し、オープンな造りにしたことも災いした。下半田川の洗礼をいきなり受けた。

主人は新栄まで通勤し、わたしは長男の通園で名東区まで往復する生活が卒園まで続き、根っこが定まらないことの上なく、とにかく落ち着かなかった。

しかし、長男の掛川小学校入学を機に生活にリズムと落ち着きを取り戻せた。地域の方々との距離がぐっと縮まり身寄りや縁故もなく、地域に飛び込んだわたしたちに温かく、優しく接してくれたことが本当にうれしかった。

そして何より驚いたのが、地域の方々の子どもへの想い、地域への想いを肌にしたこと。

学校行事へ地域の方が積極的に関わり、子ども達を大切に育む。ここでしか味わえない貴重な体験をし、存分に遊び、学

ぶ子ども達の笑顔と輝きは素晴らしい。

また‘田舎特有の…’と言われていたが、地域としての機能や信頼関係、人情など、都会では失われてしまっているよきものがたくさんあった。地域コミュニティは、人が人らしく生きていく上で必要なものなのだと改めて体感した。

ここに、あたり前にある豊かな自然、豊かなコミュニティ、豊かな人々。でもあたり前に享受できるものではないと知っているからこそ、わたしもこの地域に根ざし、地域のために何ができるか、と思える原動力になっている。

草刈り、薪割、畑仕事…初めてのことばかり。まずは春夏秋冬、暮らしを整えよう。そしてわたしたちらしくできることから始めていこう。どうぞよろしくお願ひいたします。



引き取ります/差上げます

- ① CANON 互換品 BCL-3e(Y)
- ② CANON 純正品 PIXSUS 7e/9 (BK, Cのみ)
- ③ CANON 純正品 BCL-3e(BK) ④ CANON 純正品 BCL-320/321
- ⑤ EPSON 純正品 Colorio 21 (2セットあり) ⑥ EPSON 純正品 ICBK70L

※ EPSON 純正品 Colorio50 は貰い手があったので差上げました。
 引き取ってほしい方、貰いたい方、随時事務局までお申し出ください。

事務局で預かっている
 いらなくなったインクカートリッジは現在、以下6種類です。

